

Enjoy!! NOZAWA Life !!

KEN TIMES

2024年12月号

FILM 01



01

02

FILM 02



03

04

FILM 03



05

06

FILM 02



03

04

FILM 03



05

06

07

Contents

p08 / 今月のインタビュー
清水牧場の清水大君だけい。



p02 / 日常、あれこれ
p14 / バックナンバー

p15 / プロフィール
p16 / 本の紹介



2025年が目前に迫ってきましたね。このレターを書いている時点では、なかなか良い一年だったかな、と思います。毎年「なかなか良かった年」と感じる気もします。一応、僕の中で「これさえやっていたら大丈夫！」というものを挙げるとすると、上から順に、睡眠、運動(サウナ含む)、身体に良いものを食べる、が大事ですね。どれも基本の「き」ですが、ここが不足してくると、中身にも支障をきたしますので、流れが悪くなりそうになったら、他を投げ出してでも、より丁寧に取り組みます。どうか皆さまも、なかなか良い今年の残りの日々と、2025年を。



特に『キメラアント編』は「作者の力量までも越えてしまった」と言われる最高傑作。敵側にも味方側にもそれぞれの正義があり、人類の止まない戦争の根源もここに 있습니다。壮大なテーマです。



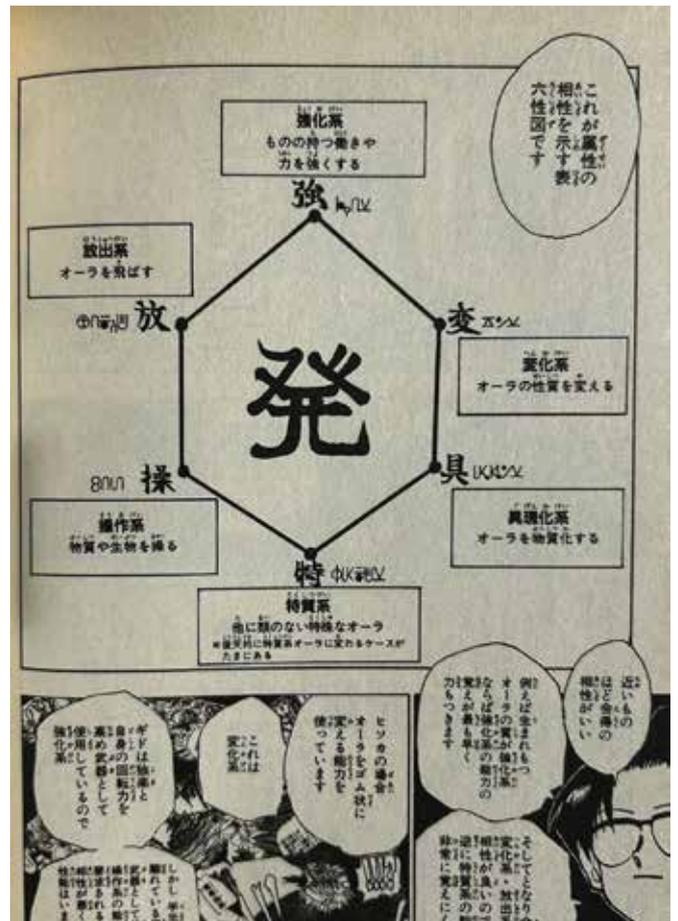
はじめて「自分で」漫画を買いました

〈前置き。漫画ってすごくないですか？だって小説は、その描写をある程度読者の想像に委ねられるのに対して、漫画は100%描き切ることになるので……芸術であり、文学であり日本が世界に誇るレガシーですよね！〉

え～、今まで貸してくれた友達の皆さん、この場をお借りして、どうもありがとう。人から借りて読むものだ、と思っていた漫画ですが、4月に親知らず抜歯のため入院した際、自らの購入を決意しました。「これは今後の人生においての必読図書だ！」と。

ちなみに『メルカリ(ネットで中古品が買える)』も初体験です。以後、おもに釣り道具を揃えるために多用しています。

で、その漫画が『HUNTER×HUNTER』です。「念能力」という、通常では目に見えない力を使って…敵と戦ったりします笑。(戦うことが本来の目的ではないのですが、長くなるので割愛しました)連



載開始は'98ですので、'24現在でなんと、26年！
 僕が小学生の頃にスタートしたんですね。その頃
 も例によって双子の弟から借りて(もちろん無断
 で)読んでいました。作者は富樫義博さんという方
 で、過去の代表作には『幽☆遊☆白書』があります。
 これも小さい頃、従兄弟の家でアニメを見まくって、
 真似しまくっておりました。(炎殺黒龍波～！なん
 て叫んで笑)

さて、『HUNTER×HUNTER』の何が良いか。これ
 を一言で言うなら……その「複雑さ」です。もう、複
 雑、緻密、難解、わからない、わからない！……それ
 が良いのです。あらゆる箇所に「布石」が散りばめら
 れており、その回収の鮮やかさに思わず息を呑んで
 しまいます。「これは未来を計算して描いていた
 の？ それとも後からそこに繋げたの？ 今のシー
 ンはフェイク？」など、一瞬たりとも気を抜いて読
 むことが許されないのですよ。

そして、なぜ僕が『HUNTER×HUNTER』を今後
 の人生において必要、とまで思ったのかと言います
 と、どのキャラクターや念能力にも、必ずちゃんと

「弱点」や「制限」があり、決して「完全」なものはない、
 という設定で描かれているからです。そう、我々が
 生きる現実と同じなのです。いわゆる「強い」とされ
 るキャラクターがなぜ強いのかということ、自分の性
 質をよく理解し、それを上手に使いこなしているか
 らに他なりません。スペック(性能)も、もちろん大
 事ですが、「それをどう使いこなすか」の方が、断然
 重要なのです。そう考えると、仕事や人生もますます
 面白くなります。いかに自分の得意分野で、自分
 の得意なやり方に持ち込むか。ここに楽しさがあり
 ます。もはや「弱点」すら魅力の一部ですし、強さの
 一部=弱点なのです。また、ここでは便宜上「強さ」
 という言葉を使っておりますが、作品を読み進めて
 いくうちに「いったい『強さ』ってなに？」という疑
 問にぶつかります。哲学的にも深い作品なのです。

おそらく僕はまだ、この作品の数%しか楽しんで
 いません。だからまだまだ研究を進めますよ
 『HUNTER×HUNTER』。

そして、読んでみたくなったあなた。……今度は
 僕がお貸ししますよ笑。

おかげさまで丸10年！

「おかげさまで」としか言いようがありません。ご契約者の皆さま、心より御礼申し上げます。2014年5月、僕は長野銀行から今の会社に転職しました。当然、賛成ではない意見が多い中、そう言ったものは一切耳に入れず、「泣きたくなるようなこの世界～、やられる前に、やるしかねえ～！（キエるマキユウ『ガラスの森』より）」というラップの歌詞を常に頭の中で再生しておりました。あわや口から漏れていたかもしれません。以前も書きましたが、入社当初、全国の同期が土日も休まずに仕事している中、僕は同級生（寛也&まんちゃん）に「竹の子取りに行かね？」と誘われ「ちょっと心配なんだよね～」と我ながらグサイ返事をすると、彼らが「いやいや、そんなでヤバイようじゃ元々ヤバイから」と、そのとき言い放った言葉は一生忘れません。今となっては、座右の銘になりました。飲んだらポンコツの彼らですが笑、カッコ良かったよな～。

……10年経った今でも、この仕事はずっと面白いです。ほとんど地域密着型というスタイルでやらせてもらっておりますが、この同じ地域に住む皆さんでさえも、全く異なる人生、実に様々な考え方です。まるで宇宙図書館です。これから出会う本のページを捲るのも、すこぶる楽しみなのでございます。

保険設計などの考え方は、経験と共にどんどん変わっていきませんが、僕が保険に求めているものはずっと変わりません。”コンコンと湧き出る野沢の温泉のように”それこそが、まさしく効能です。これからも、皆さまの心がじんわりと温まる仕事を僕は目指します。皆さま、これからもどうぞよろしくお願いたします。

26歳の入社当時、河野健児さんのツリーデッキにて撮らせていただきました。最初は銀行時代にいた松本で営業していたので、運転に疲れ、ほとんど車の中で眠ってばかりいたのを覚えています。



コンコンと湧き出る

野沢の温泉のように

猛吹雪の中、みんな顔で顔を赤くしながら夢中で滑った新雪のシュナイダーコース。日が暮れるまで滑ったら、

小さな肩に各々のスキー板を背負い、降りしきる雪の中、

黄色い街灯のお宮坂を下る……。

腰まで雪に埋まりながら、押し合いへし合い、みんな笑って歩いて、別れ際には

「夜、温泉行こうぜ！」の約束。

家族との夕飯のあと、暗い夜道を一人歩き、みんながいる温泉へと向かう。雪深い……。

「ハア……」

熱いお湯に浸かればみんなの顔が和む。

芯まで冷えた体がポッと温まる。

「明日あそこじゃジャンプ台作ろうぜ！」

「いつか野沢にこんな店作らねえ？」

僕らにとっての温泉は、

みんなが最高の笑顔で

夢を語る場であった。

”コンコンと湧き出る

野沢の温泉のように

“

みんなが笑顔で夢を語る。

僕はそんな仕事をしたい。

北軽井沢、ココロ・カラダ潤う森

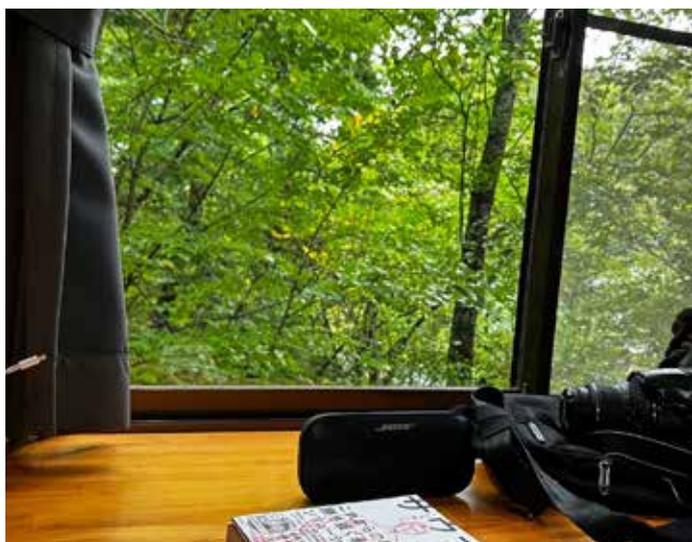
8月の終わりに、家族で北軽井沢(群馬県・嬭恋村)へ行ってきました。遅めの夏休みです。お気に入りの'92年式ランドクルーザーに荷物を積み、レタスの菅平を越え、キャベツの嬭恋村を抜けて……。こういうのは何とも言えない幸福感です。菅平のドライカレーも美味しかったなあ。

今回2泊3日で泊まったのは、プリンスランド別荘地「花の街」にある一棟建ての貸別荘。全面木張りの内装に惹かれ、そこを選びました。やはり、木目に囲まれた生活は心が和みます。子どもたちも喜んでいるようでした。僕は特に、今回の別荘のお風呂が気に入りました。2面が大きなガラス張りになっていて、森の中で入浴しているかのような気分になれます。その時は雨だったので、窓を開けてみると、木々の葉っぱに雨水が落ちる音が鮮明に聞こえます。……。それが凄く耳に心地良いのです。僕らが泊まった「花の街」の他にも、「森の街」

「星の街」「鳥の街」「空の街」「虹の街」とがあり、まるで夜空に散りばめられた無数の星たちのように、幾つもの別荘が北軽井沢の地に佇んでいます。それらの個性的な別荘を見て回るだけでも実に楽しいです。

中日には、すぐ近くにある「軽井沢おもちゃ王国」へ。この日も雨でしたが、息子はどしゃ降りのゴーカートに興奮しておりました。遊びきれないアトラクションの数ですので、また晴れの日に連れて行けたらと。本音は、これまた近くにある、芝の生えている遊園地(ゴルフ場)に行きたいところですが……。それはもう少し先の話かな。

一度足を踏み入れたら、人々が北軽井沢を求める理由がわかります。「森」が良いのです。ミズナラ、カラマツ、アカマツ、シラカバ、そうといった木々が表現なしに僕らをやさしく包み込んでくれます。特にミズナラが良いですね。「すべて、これで良いんだ……。」そんな気持ちにさせてくれます。心と身体が潤うのです。



所さんのように在りたい

そうです、あの所さんです。ああいう人はやっぱりすごいと思うんですよ、ええ。やっぱり……ん～、自然体であり、よく見えていると思うんですよ、人生が。他人事ながら……。普通、面倒だからやりたくないなあ、と思っちゃうようなことでも「それが良いんだよ」と、その過程を楽しんじゃう。

所さんのYouTubeチャンネルなんか見ている、100年前のサビサビのゴルフクラブをどこからか調達してきて、それにひたすらサンドペーパーをかけてピカピカにしてラウンドしてみたり、友達から送られてきたパイナップルを自宅の台所で一人黙々とナイフでカットして、袋に詰めて凍らせていく様子など……。なんて言うんですかね、その手間を心から楽しんでいるのが伝わってくるんですよ。「夫婦の価値観が合わない？だって他人だもん。そんなの合うわけねえじゃん。違うから面白いんだよ。人生二つ楽しめるんだから。」……なかなかこういう考えってできないですよ。スポーツ的才能とか、ビジネスとか勉学の才能とか、そういったものを超越した力を感じます。

影響された僕は「それが良いんだよね」を、口癖のように発します。



出典:YouTube「所さんの97チャンネル」

妻と古道具

女房と味噌は、でしたっけ？女とワインは…？なんでも良いか。どうも最近の妻は古道具に凝っているらしく、気づくと家の中が昭和に近づいてきておりました。僕も「あ、また買ってきたんだ」と思いつつも、少ししてから眺めてみると「なかなか良いじゃない」と、実は感心していたのです。せっかくですので、少しでもコスパを上げるためにも笑、写真にて紹介させていただきます。所さんにも習ってね。



ゼンマイ式時計

30日に1回ゼンマイを巻けば良い、電池要らずの古時計。この「チクタク」って音は不思議なものですよね。家族がみんないつせいで出掛けて、自分一人家に残った時など、急に大きく聞こえはじめ、その沈黙が強調されます。何か考えごとに没頭していて、急に意識が我に返った時なども、追いかけるようにその音が聞こえてきます。ずっと音は鳴っていたはずなのに、1時間ごとに鳴るあの音も、実にやわらかく心地よい響きです。この古道具の文章自体、「チクタク」の音から生まれました。見ているだけでも色々なことを考えさせてくれる時計です。



レコードプレーヤー

ファミコン?って思いますよね。ちなみにレコードはまだありません。今度ブックオフにでも行ってみようかな。実際に音は出るのか、ということ自体が楽しみです。



木箱

単なる木箱ですが、箱自体はすごく軽く、重いものが入っても安定していて持ちやすいです。



石油ストーブ

フォルム、色合い、存在感……。アンティークとしても、ストーブの機能以上に暖まりそうです。(おっと、迂闊に全面的に褒めてしまった)ダンボールがまた時代を感じて良いですね〜。



机

ある朝、おかつぱ頭の娘がこの机で朝ごはんを食べている光景を見た時、思わず目を擦りました。「え、昭和?」と。



ラタンのカウチソファ

なにも敷かなくても、意外と寝心地が良いです。なんとなく、夕暮れ時が似合う気がします。



ラタンの脱衣カゴ

「トトロ」の脱衣所に置いてありそうです。きれいに洗ったタオルをきちんと畳んでのせておきたい。



夜な夜な
本と酒とひとりごと



何気ない日常の中で、
心に穏やかな
風を感じられる作品です。

子どものころ、天井の高い、静かなアトリエに1人で暮らしていたその人は、わたしにとってはじめての子どもを”子どもあつかいしない”おとなでした。
わたしは、大人になって画家になりました。
でも、もし、そうならなかったとしても、やはり、私には影響の大きい人だったと思うのです。

——堀川 理万子
(あとがきより省略して抜粋)

■■■

春頃、新聞で紹介されているのを見て、なぜか迷わずに購入しました。絵が気に入ったのかな。

「わたし」のおばあちゃんが子どもの頃、学校が少しいやになっていた時に、絵描きの「その人」の家で1週間過ごした日々話。海のそばにあるその人の家で絵を描いたり、

本を読んだり、海へ泳ぎに行ったり、朝からその人は逆立ちしていたり。食事は、ぜんぶ「その人」が考えたごはん、スイカの香りのする水で乾杯したり……。

何気ない日常の中で、心に穏やかな風を感じられる作品です。

「わかるな。おばあちゃんは、きっとそうやって、その夏のことをおぼえてたかったんだね。わたしも、そんな絵描きさんに会いたかったな。」

「そうね、でも、あなたはこれから、あなたのだいじな人にであうのよ。このことをずっと覚えていたって、そんな日が、きっとあなたをまってるわ。」

Contact Address



【連絡先】 河野 謙 (こうのけん)

住 所 / 下高井郡野沢温泉村豊郷9829(横落・Fujiyoshi)

携 帯 / 080-1294-5162

メール / fp.konoken@gmail.com

その他 LINE、facebookのMessengerでもどうぞ！



「河野謙」でホームページ検索!!



流れる、F1 河野謙

Kono Ken



河野 謙 (こうのけん)

- 1987年7月10日生まれ(卯年・かに座)
- ファイナンシャルプランナー
- 双子(弟は連)
- A型
- 三児の父(長男:2016.7/長女:2018.12/次男:2020.10)
- サイグラム/M10
- 動物占い/感情的なライオン・ゴールド
- 野沢温泉村在住(横落のFujiyoshi. ずっと地元民)



【学 校】

- 野沢温泉小学校
- 野沢温泉中学校
- 飯山北高等学校
- 立命館大学(経済学部・国際経済学科) ずっとスキー部(アルペン)

【性 格】

楽観主義者。小さい時からそうだったわけではない。大学ぐらいから海外に行ったり、色々な友達と付き合い中でそうになっていったと思う。**判断は早い方。**ただし、睡眠不足に陥るとあらゆる面でうまくいかなくなってしまう。仕事も遊びも、同じことを繰り返してその精度が上がっていくことに喜びを感じるタイプ。

遊びや日課

- スキー・スノーボード。シーズン中は週2ぐらいのペース。
- サーフィン。直江津がメイン。力強いハワイの波が忘れられない。
- 中学校の時は北竜湖でヘラブナを釣ることが何よりの楽しみだった。現在は溪流釣り。
- ゴルフ(2020年からハマリ、2021年現在、100前後をウロチョロ。斑尾タングラムがメイン。)
- サウナ。ちょっと行かないと禁断症状が出る。基本は木島平パノラマランド
- 飲酒はほぼ毎日。夕飯時には欠かせない。(ビール、日本酒、ワイン、ウイスキー)
- 睡眠重視。少しでも眠気を感じたら、可能な限りどんなことよりも最優先してまずは眠る。
- 26歳から、お祭りで猿田彦の笛をやっている。
- 消防団員。第一分団第二動力班
- 2023年からスキーJr.Jr.コーチ



好きな作家

村上春樹、池波正太郎、浅田次郎、野田知佑、椎名誠、伊集院静など。特に村上春樹は相当の回数読んでいる作品が多い。

好きな音楽

特に好きなものは90年代日本語ラップ。「BUDDHA BRAND」「キエるマキユウ」に関しては博士。ユーミン、Hi-Fi Set、ビートルズ他、ジャズもクラシックも好き。



BUDDHA BRAND

ランクル

ランクル80(1992)。妻はランクル60(1981)に乗ってます！二人とも、だいたい愛着湧いてます。



仕事の変遷

スキーだけやっていた大学生活だったので、当時「こんな仕事かしたい！」というものがなく(スキーで稼いでいくほどの実力も自信もなかった)、4年のゴールデンウィーク頃から就活をスタート。

その頃、株やFXをやっていたということもあり「なんとなく金融が面白そうかな」という思いと、長野県出身のスキー部の先輩が、卒業後そこで活躍していることを知っていたので、地元の金融機関である「株式会社 長野銀行」に入行。

入行後一年は、掃除、雪かきの毎日。ちょっと退屈だったが、雪かきに関しては豪雪地帯・野沢温泉出身の実力をここぞとばかりに発揮し、銀行の敷地内だけでは物足りず、勝手に近所の商店の雪かきまでしていた。

そして楽しくお茶をいただき、預金までしてもらっていた。お客さんと心が通じる、「河野君だから」で任せてもらう。これが営業か……と、その時に思った。

2年目からは松本の支店で営業係。預金・住宅ローン・投資信託・保険を主に販売。最初はどのようにいかわからず、お客さんの家でお茶をもらってばかりいたが、ある日突然自分の中で「何か」が解り、そこからは営業が楽しくて仕方なくなった。

お客さんは「その先に何を求めているか。」これが本質。

2014年(銀行4年目26歳の時)長野銀行出身の、尊敬する先輩に声をかけてもらったことがきっかけで、現在の会社に転職。ずっと地元だけで仕事ができる。本当に自分が好きで、お客さんにとって100%いいものだけを案内できるということが最大の魅力だった。

現在は「KEN TIMES」も発行。地元の事業主のインタビュー、お得な金融情報、日々の日記を掲載している。お客さん同士が繋がりが、地元がどんどん盛り上がっていくことが何よりの喜び。

